

水道料金は、なぜ高いのか

【答】 水量が豊富で良質な自己水源がない

青山 矢吹町の水道料金は、白河・西白河地方で一番高い。町長は使用水量20立方メートルの料金を説明するが、あまりにも生活実態とかけ離れており生活感を疑わざるを得ない。どれほどの高料金であるかを示し、加えて高料金の理由をお尋ねする。

位置しています。平成13年より白河地方用水企業団より受水を開始し、受水開始以前の1上水道事業、4簡易水道事業の運営により町内各地に給水をしてい

ましたが、地下水の豊富な水源を確保することが困難であるため受水開始以降も、水源施設、浄水施設、送水施設、排水施設等の統廃合等を行い、整理したことにより固定資産台帳合計金額で約63億円と多額の資産を保有しているため、他自治体より資本費が高額な

とと、水量豊富で良質な水質の自己水源が確保できない状況で、資本投資が抑えられないためであります。



あおやま ひでし
青山 英樹 議員

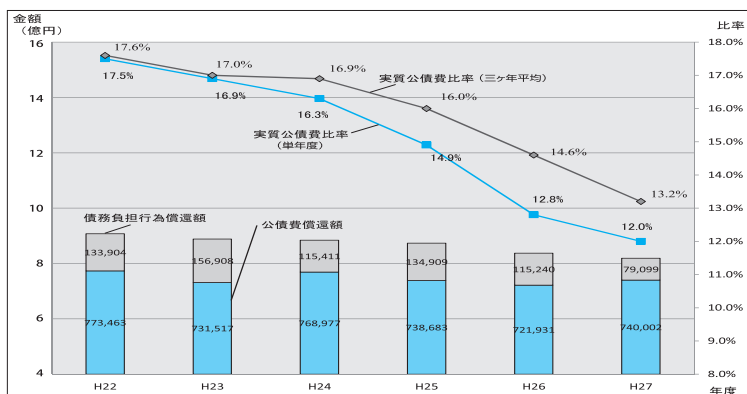
町長 水道料金の算定方法は、各自自治体で異なり、本町の水道料金は、白河市、西白河郡と比較すると最も高くなっておりますが、県内で比較すると中間に



西部簡易水道第2水源（田内）

財政規律は、働いているのか

【答】 財政規律を踏まえた行政運営に取り組む



公債費償還及び実質公債費比率の推移

青山 国保への支援は、減る一方、収める国保税は上限が9年間で27万円上昇し、89万円。借金は、10年前の規模に戻り実質公債費比率は約13%と他自治体の2倍。水道料も高く、箱物よりも他にやることがあるのでないかとの声がある。財政規律の有無とそれをどう働かせるか伺う。

町長 まちづくりの推進にあたり、その根拠となるのは財政であり、財政規律の下で健全な財政を運営していくことが、重要であると考えております。町民に寄り添い、住民福祉の向上を目指す基礎的自治体としての責務を果たし、主体的なまちづくりを展開して、町民生活の向上を図るためには、柔軟性を持ち、持続可能な財政構造を構築することが肝要であります。財政の健全化、財政規律を踏まえた行政運営を原点に、まちづくりの取り組みと行財政運営の取り組みを一体化し、職員が一体となって知恵を出し合い、町民と行政が一体となったまちづくりを目指して、町民に寄り添い、町民満足度の高い行政運営に取り組んでまいります。